**認定特定非営利活動法人　浜松NPOネットワークセンター**

**2015年度　事業報告書**（2015.4月～2016.3月）

**１．民間非営利組織の発展を支える事業**

**（1）共同事務所運営**

１）会議室貸し出し

２）事務機器貸出　コピー機、輪転機、プロジェクター、iPad　ほか

３）事務局代行　3団体：（特）浜松城北体操クラブ、浜松環境ネットワーク、（特）フィリピノナガイサ

郵便物等の収集・保管など

４）交流コーナー　他団体のチラシ・ニュースレター等の展示、助成金・出版物等の紹介

**（２）啓発**

**１）NPOプレゼント講座 in 西遠**（8年目）　【静岡県労働者福祉基金協会 委託　70万円】

西遠地区の「NPO協議会」の設立も視野に入れ、協力団体と協働して、NPO法人の共通課題について学びあい議論する円卓会議、CEO会議を開催。NPO法人の会計についての講座も１回開催。

1. 議員と語ろうNPOの円卓会議2015　～課題のタネを集めよう・届けよう～

10/3（土）13時半～16時半　　会場：浜松市福祉交流センター

講師：日詰一幸さん（静岡大学人文社会学部教授）　資料代：500円

　　参加者：NPO関係者28名、議員6会派9名、行政職員2名、主催者等5名　計44名

内容：3年連続となる会議。4月の選挙で議員が一新し、新人議員の参加が増えた。議会のしくみや役割について学びつつ、**子育て・中山間地・防災・福祉など**７つのテーマに分かれて、議員にNPOが取り組む「課題のタネ」を提供し、NPOと議員の協働ポイントについて意見交換した。

1. 浜松・湖西NPOによるCEO会議2015　～わいわい話そう！ まちづくり大作戦～

10/17（土）13時半～16時半　　場所：浜松市福祉交流センター

参加者：12法人からCEO15名、市職員、ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ、主催者等　計23名

内容：NPO法人のCEOが集まり、資金調達、行政や地縁組織との関係、ボランティアの位置、NPOのビジネスモデルなどNPO全体の課題を共有。NPO協議会を立ち上げようという声が上がった。

1. NPO会計入門　＆　会計ソフト講座

3/6（日）13時半～16時半　　場所：浜松市福祉交流センター

講師：中尾さゆり（ボランタリーネイバーズ、NPO会計税務専門家ネットワーク、税理士）

　　　　井ノ上美津恵（浜松NPOネットワークセンター代表理事、NPO法人会計基準協議会）

参加者：NPO法人21名、その他2名、主催者等4名　計27名

内容：前半はNPO法人会計基準について説明し、収益区分や税務など間違えやすいポイントを解説。後半は会計ソフト「会計王NPO法人スタイル」を使い、PCを見ながら設定や操作を実地で体験した。

**２）NPO法人会の設立準備**

　　準備会3回開催、設立趣意書作成、賛同団体募集

**３）遺贈・相続寄付セミナー＆パンフレット作製**【72万円（うち、ふじのくにNPO基金2/3補助）】

11/3（金）13時30分～16時　　場所：静岡県男女共同参画センターあざれあ

講師：早坂毅（税理士・行政書士、認定NPO法人ジェン 副代表理事）

菅波完（認定NPO法人高木仁三郎市民科学基金）

参加者：仮認定NPO5名、中間支援センター7名、その他1、講師・主催6名　計19名

内容：遺贈・相続寄付のしくみ、認定NPO法人における収支構造の分析、寄付者への対応を紹介。後半は、NPOの信頼性とは？　遺贈の可能性と注意点などについて質疑応答した。

また「遺贈・相続寄付のススメ」パンフレットを5000部作製。寄付集めのツールとなるように県内の認定・仮認定NPO法人の紹介、相談先のリストなどを掲載。市民活動支援センター等に配布。

**４）NPO労働環境改善のための調査とセミナー開催事業**【あいちモリコロ基金100万円】

愛知県の「東大手の会」との協働事業。NPOの基盤強化を進めるため、労働環境、労務、キャリアについて調査とセミナーを行った。労働法との整合性、活動と労働の線引き、有償ボランティアの扱い、労働の対価といった課題を明らかにした。また、多様な働き方、キャリア形成など「NPOならではの働き方」についてもフォーカスした。  
① NPOの労働環境調査：浜松で10法人、名古屋で5法人について調査、分析。  
② NPOスタッフ意見交換会：浜松7/15（水）参加者8名、名古屋7/4（土）参加者10名

③ NPOスタッフと労務専門家による「NPOで働く」をテーマのセミナー開催

浜松11/15（日）クリエート浜松　参加者16名、ｹﾞｽﾄ・ｽﾀｯﾌ8名　計24名

名古屋12/9（水）ウインク愛知、参加者17名、ｹﾞｽﾄ･ｽﾀｯﾌ13名　計30名

**５）「想いを形に」人材養成塾**【浜松市市民協働・地域政策課委託　100万円】

「チェンジメーカー養成講座」20～40歳までの人材で社会的起業についての5回連続セミナー。

NPO、社会的企業、行政のヒアリングでニーズを掴み、プロジェクトを企画し、発表を行った。

受講者からは、セミナー後に助成金申請をして事業を始めたり、起業したりする人も出た。

受講生：12名　のべ参加者108名　メンター：道喜道恵（一般社団ハーサイズ）、N-Pocketｽﾀｯﾌ

第1回　12/5(土)　想いを共有しよう：自己紹介、社会的起業とは、企画書のつくり方

第２回　12/20（日）想いを形にしよう：講演＆座談会＋個別相談

講師：今井紀明（NPO法人D×P）　モデレーター：山本洋士（ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄﾘﾝｸﾞ）  
第３回　1/11（月祝）公開講座「元気で長持ちするソーシャルビジネスって？」講師：大南信也（NPO

法人グリーンバレー）、小出宗昭（富士市産業支援センターf-Biz）、参加者：33名、講師ｽﾀｯﾌ9名

第４回　1/16(土)　異なる視点を大事にしよう：プレゼン練習＋ブラッシュアップ

第５回　1/30（土）公開報告会「みて、きいて！私たちの想いをかたちに」参加者：25名

**６）NPO法人会計基準の普及促進**

・ソリマチ会計ソフト等の販売　　会計王NPO法人スタイル　3本、給料王　1本

**（３）情報収集提供**

**１）ニュースレターの発行**（季刊）

4月、7月、11月、1月に発行。会員、関係団体など毎回約200部を送付。各8ページ。

**２）ホームページやメールによる情報発信**

　　・会員メーリングリスト　助成金やイベント情報を提供。また会員相互の情報共有を図った。

　　・ブログ「ぽけっとのなかみ」　70件エントリ（前年度＋3件）、年間16,055pv（前年比40％増、累計64,997pv）  
ニュース、イベント案内・報告、助成金情報、今日の事務局ほか。

・Twitter　＠N\_Pocketで発信　　ツイート数896（累計4219）、フォロワー584（前年比+113）

**３）N-Pocketサロン**

（１）iPad講座「わたしはワクワクハートiPad　みんなでキラキラ社会貢献」【自主事業】　→ICT事業に掲載

（２）ドキュメンタリー映画上映会「何を怖れる」　　【あざれあ地域協働事業助成　15万円】

NPO法人浜松男女共同参画推進協会、ウィミンズネットいわたと共催10/25（日）　シネマイーラにて　映画上映　参加者132名　  
上映後、肴町公会堂で、浜松市と磐田市の女性議員6名を囲み「わいわいトーク」を開催。参加者40名。

（３）認定NPO法人記念「N-Pocket感謝のつどい」　11/29（日）　ホテル呉竹荘　参加者：78名

**４）取材・視察・相談**

市民団体、大学、行政、議員等に有料（3000円/1h～）で対応。視察対応、電話相談、来訪相談など

**５）講演・原稿・掲載依頼**

講師依頼　（中間支援：6、JC：大学3、ｾﾐﾅｰ5、環境：1　ほか）

新聞・雑誌掲載　（中日新聞、静岡新聞、日本NPOセンターニュースレター他）

**６）全国会議等への出席、連携、協力**

・浜松市男女共同参画推進センター・あいゆうねっと

・（公財）静岡県労働者福祉基金協会「NPOパートナー委員会」（静岡）委員

・ふじのくに西部「西部地域市民活動ネットワーク研究会」

・日本NPOセンター「民間NPO支援センター・将来を展望する会（CEO会議）」

・NPO法人会計基準協議会　2015年NPO法人会計基準の導入度調査

**（４）地域資源調査・開拓**

**１）各種データベースWebサイトの更新**【自主事業】

Webサイト「静岡県西部 外国ルーツの子どものための教育支援情報倉庫」、「ニーズのある子ども・育ち応援マップ」、「はままつ市民の力きらきらBOX」を随時更新

**（５）提言**

**１）浜松市、静岡県、国に委嘱された委員**（2015年４月～2016年3月）

井ノ上美津恵：浜松市みんなのはままつ創造プロジェクト審査委員、浜松市市民協働推進委員会

小林芽里：浜松市環境審議会、浜松市環境審議会環境影響評価部会、浜松市土地利用審査会

島田江津子：浜松市ユニバーサルデザイン審議会

山野由香：浜松市中区障害者自立支援連絡会、西遠地区就業促進協議会

**２）具体的な意見書の提出など**

パブリックコメント：静岡県：第3次環境基本計画、ふじのくに協働の推進に向けた基本指針　2件

**２．多様な人々の社会参加を支える事業**

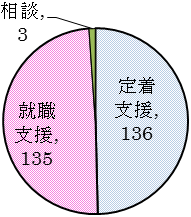
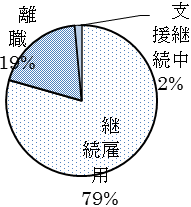
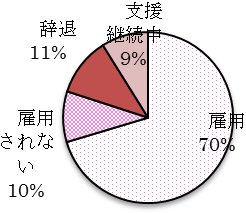
**（１）障害のある人**

**１）障害者職場定着支援事業**（15年目）【静岡県経済産業部就業支援局雇用推進課　3,447万】

①ジョブコーチ派遣

　　職場定着支援（従来のジョブコーチ業務）＋雇用アドバイス支援（アドバイザー業務）

　　支援対象者294人　派遣件数3,646人日



②ジョブコーチスキルアップ研修　10回

実践：支援書類作成講座、精神障害・聴覚障害の特性と職業的課題、ジョブコーチ支援の実際(手法)、　IT農業から障害者雇用に至るまで、ケース検討・、高次脳機能障害を支える家族の想い、あしたか職業訓練校見学、あしたか太陽の丘施設見学等を三島、沼津、富士、静岡、藤枝、浜松の県内6箇所で計10回開催。

③障害者職場定着支援者養成研修（昨年度より県委託事業に含む）

静岡県ジョブコーチ希望者および施設、企業などの支援者向け研修

開催日：8/28・29、9/5・6・12の5日間　　会場：三島市社会福祉会館

受講生74名のうち、全講座の8割の時間数を受講した61名に修了証書を発行した。

**２）障害者職業センタージョブコーチ事業**（訪問型職場適応援助促進助成金事業）（13年目）

【独立行政法人　高齢･障害･求職者雇用支援機構】

訪問型職場適応援助者養成研修を受講（1名）　→　新規ジョブコーチ登録

職業センターとの連携の下に実施するジョブコーチ支援事業　ジョブコーチ2名（1名増員）、対象者1名

**３）ジョブコーチ現場実習（自主事業）**

障害者職場定着支援者養成研修修了生のうち、三島４名、静岡2名、藤枝１名、中遠2名、浜松3名が実習。そのうち、藤枝１名、浜松2名が実習終了し、ジョブコーチとして登録。

**４）静岡県ジョブコーチ　アドバイザリーボード（自主事業）**（2年目）

3/20に開催。委員は、委員長に小出隆司氏（全国手をつなぐ育成会連合会副会長）、福祉系大学、障害者就業・生活支援センター、弁護士、社会保険労務士、障害者雇用コンサルタントなど8名が出席。

**５）障害者雇用コンサルタント（自主事業）**（1年目）　　　　　　　　　　　　【I病院　354万円】

病院からの業務委託。障害者3名が病院内の補助業務を請負う部署を新たに開設。  
中遠拠点のジョブコーチ数名が交代で支援に入り、体制づくり、職務の切り出し、業務支援を行う。

**６）関係団体とのネットワーク**

障害者の就労に関わる労働行政、福祉行政、学校、施設、事業所、家族などと連携をとりながら支援を行ない、障害のある人の雇用の促進、定着につなげることができた。

**７）無料職業紹介**

　企業アドバイス業務にからみ、28年3月1日付で無料職業紹介事業許可証を受けた。

**（２）ＩＴによる社会参加**

**１）障害者福祉施設内でのパソコン講座**【浜松市福祉事業団　65万】

地域活動支援センター「オルゴール」でひと月4講座。PCとiPadと交互に開催。

重度の身体障害者もいるため、アシスタントが一人ずつ付かなければならない人もいる。

**２）ユニバーサルデザイン事業**【浜松市ユニバーサルデザイン協働委託事業　27万円】

9月16日　ザザシティ浜松中央館　「『会話が視える』未来の会議を体験しよう！」参加者60名

音声を文字化するアプリ「UDトーク」の開発者青木秀仁さんの講演と体験

**３）わたしはワクワクiPad　みんなでキラキラ社会貢献**（再掲）【自主事業　7万円】

N-Pocketサロン「iPad講座」を月1回ベースで12回（＋1回）開催。その参加費から寄付としていただいた分から、移動が困難な障害のある方の在宅PC講習を5件6時間実施。

**４）障害者在宅パソコン講習**　　【自主事業　4万3千円】

10件実施（視覚2、身体8）

**５）ぽけっと工房**（10年目）　　【自主事業　86万円】

登録テレワーカー数18名（四肢8、視覚3、知的1、内部1、精神3、聴覚2）。

受注実績33件（データ入力、テープ起こし、Webページメンテナンス、印刷等）。

発注者は、浜松市、大学、民間企業、任意団体、個人など。新規には、浜松市UD審議会テープ起こし（優先調達に基づき随意契約）。

**（３）多文化共生（在住外国人との共生）**

**１）「高校進学ガイドブック　静岡県版　2016」の作成**（11年目）　　　【三井物産寄付　20万】

静岡県教委、静岡県私学振興課の協力で、やさしい日本語（ルビつき）、ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語、中国語の6言語で作成。県内の小中学校121校、高校35校、教育委員会、学習支援団体等に日本語版を送付し、Webにも情報をアップした。

**２）情報収集発信**

Webサイト「外国ルーツの子どものための教育支援情報倉庫」　www.tabunka.n-pocket.com

を更新。（再掲）　相談対応は、教育・進学に関しては当事者団体に少しずつ振り分けている

**（４）子ども・わかもの**

**１）子どもの貧困、居場所勉強会**

2/28（日）子どもの貧困に関する勉強会に参加。講師：鈴木和樹さん（NPO法人POPOLO）

NPO、任意団体、SSW、療育関係者、施設関係者が40名、子ども食堂や居場所づくりに関心のある人が集まった。今後は、社協、NPO、関係者とのネットワークづくり、実態調査を予定。

**（５）環境・地域の自立**

**１）SAVE JAPANプロジェクト**（4年目）　　　　　【日本NPOセンター委託事業　110万円】

損保ジャパン・日本興亜損保、日本NPOセンター、中間支援NPO、環境団体の5者の協働事業

47都道府県で展開する希少生物・生物多様性保全の普及啓発プログラムの静岡県を担当。

1. NPO法人「ひずるしい」

8/22（土）「われら鎮玉探検隊 ～"幻のタガメ"の里を訪ねて～」　参加者：47名（子ども20、大人19、学生8）

1. Mumu Workshop

9/4（土）「佐鳴湖にひそむ曲者を探せ！」　　参加者：31名（大人10、子ども16、ｽﾀｯﾌ・講師5）

10/10（土）「生物多様性ってなんだろう？ ～自然保護のルールとマナーを学ぼう！～」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　参加者：35名（大人31、子ども1、ｽﾀｯﾌ・講師3）

**２）防災・災害ボランティアのネットワークづくり**（4年目）　【自主事業】

* 浜松市社協、災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、浜北JC、NPOなどからなる、Nimo Net（災害時にも助け合えるネットワークはままつ）に参加。
* 9月の常総市の水害の救援活動に対して、茨城NPOセンター・コモンズの「たすけあいセンターJUNTOS」に10/18～21に4日間スタッフを1名派遣、
* 12月には第11回「静岡県内外の災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱによる救援活動のための図上訓練」に参加した。

**３）災害時はどうする？障害のある人の「福祉避難所」を考える**　【ふじのくにNPO基金　15万円】

Nimo Net（災害時にも助け合えるネットワークはままつ）と共催でセミナーを開催

2/26（金）19時～21時　参加者：54名　　講師：浦野愛さん（NPO法人レスキューストックヤード）

福祉施設関係者、災害VC、その他NPO、行政関係が集まり、災害時における障害のある人たちの福祉避難所について学び、できることを考えた。

**４）公園の魅力発見事業（みんなでつくる公園事業）　【**浜松市委託　65万**】**

2/9（火）、3/10（木）意見交換会を開催（参加者のべ30名）、2月～3月に11名ヒアリング。

佐鳴湖北岸公園予定地について、子育て世代、障害のある人、外国人、地区社協など、多様な市民の視点から、その隠れた魅力や利活用、自主管理の可能性についてヒアリングと意見交換会を行い、今後の活用方法について提案をまとめた。

**３．組織の管理運営**

**１）事務局会議**

2015年度は、事務局に勤務する全スタッフによる事務局会議を毎週水曜10:30～12:00で、47回行った。各事業担当者から１週間の進捗報告と予定、事務局より事務連絡、組織運営のための相談・協議を行う。

2016年3月30日に開かれた会議は、設立後に開催した事務局会議として通算779回目であった。

**２）理事会**

2015年度は2回の理事会を開催し、事業運営、組織運営に関わる協議を行った。

5/17（日）11:00～13:00 理事　6名、顧問　１名、その他　1名

3/18（金）18:40～21:00 理事　5名、監事1名、顧問　１名、その他　1名

**３）総会**

5/17（日）13:30～15:10　浜松市福祉交流センター　大広間

参加者：正会員18名＋委任状提出者13名（正会員総数43）、賛助会員1名

**４）認定NPO法人の認定について**

平成27年4月24日浜松市指定市協第3号　仮認定特定非営利活動法人に認定（～平成30年4月23日）

平成27年8月5日浜松市指定市協第16号　認定特定非営利活動法人に認定（～平成32年8月4日）